

ワンフェス for Youth 2015
高校生のための国際協力助成プログラム

事業実施報告

作成日：3月15日

作成者：●●●

1. 事業の概要

1) タイトル

もっと知ってほしい在日コリアンのこと！ 3F (Fashion・Food・Free Hugs) 異文化交流会

2) 日時

2016年2月28日(日) 午前10時～午後4時

3) 会場

大阪府立●●高校西館ホール・食堂

4) 主催者

●●高校国際理解選択生徒13名

2. 事業の背景

戦後70年目の都市にふさわしい国際理解テーマとして、日本と朝鮮半島の歴史問題を学び、いまなお在日コリアンに対するヘイトスピーチなどの人権侵害があることに衝撃を受けた高校生たち。だが、深く学ぶにつれ、自らの無知もまた知らないうちに相手を傷つけるかもしれない「悪意なきヘイトスピーチ」になる可能性があることに気づき、お互いを深く知るための「異文化交流会」を企画するに至った。なお、本企画は、昨年からはまった高校生のための国際交流・国際協カイベント（ワンワールドフェスティバル for ユース 2015年12月26日 大阪国際交流センター）における助成金コンペにて最優秀賞を受賞し、助成金を得て実施した。

3. 事業の目的

ふだん、まったく接する機会のない●●学校生を●●高校に招待し、3F (Fashion・Food・Free Hugs) を通じて交流を深め、相互理解の第1歩とする。

4. プログラムの内容

第1部 相互理解と親睦を深めるワーク（カルタ、ロシアンルーレット、ビンゴ大会）

食文化交流（もちつき、トック、キンパづくり）

衣文化交流（チマチョゴリと浴衣で記念写真）

第2部 相互プレゼンテーション

【●●高校】 ①ラップから考える世界の貧困

②悪意なきヘイトスピーチを超えて

③フリーハグ運動について

【●●高校】①ビデオによる民族舞踊の紹介

②●●学校の紹介

5. 事業の成果

1) 参加者数

●●高校生 14人 ●●高校教員 8人

●●高校生 13人 ●●学校教員 3人

市民(NGO関係者・研究者・他校教員・大学院生など) 16人

計

54人

2) 成果

高校生らしい発想と等身大での交流を大切に、高校生同士が互いを理解し、議論しあうことができた。いかに主な感想を掲載する。

【●●高校生の感想】

A. イベントを通して、人間同士は交流によって分かり合えるという事を知りました。初めはどうかと心配していましたが、朝高生はとても明るくフレンドリーで開始10分もしない間にあれだけ仲良くなったことに驚きました。そして午前の部で仲良くなったことにより、午後の部では聞きづらいこともしっかりと聞くことができ、在日コリアンに対する疑問が解けたと同時に在日コリアンの思いなども知れたのでとてもよい勉強の場になりました。

もし、在日コリアンのことを知らず学校を卒業して社会人になっていたら、もしかすると僕は在日コリアンに対して誤解し差別をする人間になっていたかもしれません。しかし、朝高生が僕たちの質問に対して1つ1つ答えてくれたことにより理解を深めることが出来ました。朝高生が真剣に答えてくれたからこそ、これから先自分の身の回り的人在日コリアンに対して偏見を持っていたり、差別したりしている人にはしっかりと説明しようと思います。

現代ではインターネットで調べればなんでも出てくる時代ですが、やはり実際に会って話を聞くことで、伝えたいことが鮮明に伝わってきました。僕はこのイベントで沢山のことを学ぶことが出来ました。高校生活最後にこんなに素晴らしいイベントが出来て本当に良かったです。

B. 今回の交流会は本当に良い経験になったと思います。最後までやっぱりちょっと壁がある感じで終わるのかなあと最初は思っていたが、朝高の子達がすごくフレンドリーに接してくれて予想以上に仲良くなれて良かったなと思います。1部のゲームとかお昼時間で一気に距離が縮まって、2部からはふざけずに真剣に話し合えることができメリハリのある良い関係が築けたなと思いました。発表以外でもいっぱい気になることを聞いたりして、それにすごく丁寧に返してくれるのでとっても勉強になりました。韓国料理とかのこともいっぱい教えてもらったので、また家でも作りたいなと思いました。

朝高の子達はすごくしっかりしていて、礼儀正しいところや自分の主張をきちんと言えるところは同じ高校生として見習わなければいけないなと思いました。そして私が思っている以上に朝高の子達は朝鮮への想いが強くて、在日コリアンへの考え方が変わりました。フリーハグもそうですが、やっぱり直接会

って話したり触れ合ったりすることが一番分かり合えるきっかけになるんだなと改めて感じる事ができました。ハグも発表の後何人もしてくれて、やっぱり温かい気持ちになったし距離が近く感じました。本当に勉強になる有意義な1日でした！

C. 今回の3F 異文化交流会は自分の夢への大きな一歩になったように感じました。僕はグローバルに活躍できる人間になりたいと思っているのですが実際は世界の事をまだあまり知れていません。そこで今回は朝高生から色々と話を聞けたらいいなと思っていました。でも在日コリアンを批判している日本人が少なからずいるという現実があるのでやはり少し朝高生と壁があるのかな～？と思っていたのですが、いざ交流会が始まるとすぐに打ち解ける事ができたので良かったです！

1部のゲームでは想像以上に盛り上がったのでゲームの企画や景品の買出しなどした甲斐があったと思いました。昼ごはんを一緒に食べて昼休憩の時間に色々な話をしてふざけ合って朝高生も自分たちと何1つ変わらないというふうに感じました。

2部からは今の北朝鮮、韓国と日本の関係についてや北朝鮮の核問題についてどう思うかなど結構シビアな話や朝高生の祖国に対する考えや日本に対する考えを聞きました。一緒に遊んでいる時は違いを感じなかったのですが朝高生は自分たちより背負っているものが重いような感じがしました。だからその分自分たちよりしっかりしていて意思をしっかり持っていると思いました。僕も色々な事を考えずに放棄するのではなく考えて自分の意見をしっかり持って生活しようと思いました！

この交流会のおかげでインターネットや先生の話だけでは知ることができないリアルな事がたくさん聞けたのでとても充実した交流会になりました！最後に念願のフリーハグが実行できみんな笑顔で終わる事ができ心も温かくなって幸せな時間でした。

朝高生と連絡先も交換したので今後も交流をして仲を深めてもっと色々な話ができたらいいなと思いました！このような交流会が開催できて良い社会勉強になったし今後活かしたいと思いました！

【●●学校生の感想】

a. 今日はとても楽しい時間をありがとうございました!! 在日コリアンの事を自分たちなりに説明しましたが、もっとうまく伝えられなかった事が、もっと自分たちの事について勉強しなければならないと思いました。●●高校の皆が準備してくれたプレゼンもわかりやすく、いろいろな角度から差別やヘイトスピーチなどを見ている事がわかってよかったです。これからこういったイベントが続いていけばいいなと思いました。優しくしてくれてありがとうございました!! “悪意なきヘイトスピーチ”をなくすためにも、互いに理解し、寄り添う努力が必要だと改めて感じました。私たちが今日をきっかけに、その努力の先頭に立ってがんばっていきましょう。

b. ラップから見る世界の現状は、私もぜんぜん知らない事でとても勉強になりました。あと、フリーハグという言葉をはじめ聞いて、こういうのがあるのか、こういう活動をして心と心をつなぐ活動をしているのか、すごく学べました。

午前中はとても楽しかったです。直接、●●高校生と交流する事で、私たちも同じ高校生やし一緒に仲良くすることができると思いました。正直な話、日本の学校の子たちが、私たち_{在日朝鮮人}について調べてくれて、こういう交流会に呼んでくれてめっちゃうれしかったです。私ももっと交流を深めていこうと思いました。今日1日、楽しい時間をありがとうございました。

c. 互いに違った民族概念を持っている中で、理解しようと歩み寄る事の大切さを感じました。同時に自分自身の存在をもっと知り、政治的なことも含めて、この日本社会で朝鮮人として生きていこうと思いました。

民族の壁はなく、もしも私たちの間に壁があったなら、それは無知により（生まれる）勝手な誤解であったり決めつけだと思えます。今日、●●高校の子達と話した時間はとても大切な時間になりました。

【市民・教員の方の感想】

- ア. ●●高校の皆さんお素朴な疑問からはじまった取り組みで、今日は、楽しい交流、理解を深める、仲良くなる様子を聞き、見ることができたこと、何より参加できたことがとてもうれしいです。両校の皆さんの自分の言葉で語るプレゼンは素敵でした。感動です。（社会人）
- イ. ただ暮らしているだけでは素通りしてしまうような難しい問題を、真剣に調べて、聞いて、考えられていて、とてもいい発表でした。メディアを通してではどうしても偏った伝わり方をしてしまうと思うので、生の、それも高校生たちの思いや意見を聞くことができ、貴重な体験になりました。（社会人）
- ウ. 今日、韓国人として日本の学生の話や朝鮮学校の学生たちの話を聞いて、もっと頑張ればいい社会を作ることができると思えました。特に昔の歴史的な問題について、どうやって解けるがいいかな少し考えました。いろいろな感情がありました。今日、いい時間、ありがとうございました。（日本に調査のために来日していた韓国の大学院生）
- エ. ●●学校の方のプレゼンが印象に残りました。もっといろいろ交流できたら良いなと思えました。同じ日本の社会の中で暮らしているのだけど、違う世界なのだと思います。理解しあっていくには何が必要でしょうか？ ●●のN君が言っていたように、政治的なことがなければ全然、友人として見れるんですね。政治的…国と国の関係難しいですが、ヘイトスピーチは強く反対していきたいです。（社会人）
- オ. 若い人たちの出会い、交流を通じていろいろな問題を解決していくことができるんじゃないかなということを肌で感じることができました。朝鮮と日本の間には様々なことがあります、そのさまざまなことを様々なことと片付けずに、ひとつひとつしっかりと分かっていくことが重要だと思います。これをきっかけにしてより良い関係を築けるようにこれからも交流をしてくれれば良いなと思います。（社会人）
- カ. 「学ぶ機会がなかったら、僕も…」という最後の●●高校のN君の締め言葉がとても印象に残りました。いい学習をされたのだなあと感じました。京都で高校の教員をしており、クラスに在日の生徒がいます。今日、来たがっていたのですが都合で伺えず、残念がっていました。でも皆さんの学びや大阪朝鮮高校の方の話をちゃんと伝えたいと思います。同じ高校生でこんな学びをしている人がいることに勇気づけられるでしょう。どうもありがとうございました。新たなステージでも学び続けてってください。卒業おめでとう！（京都 高校教員）